

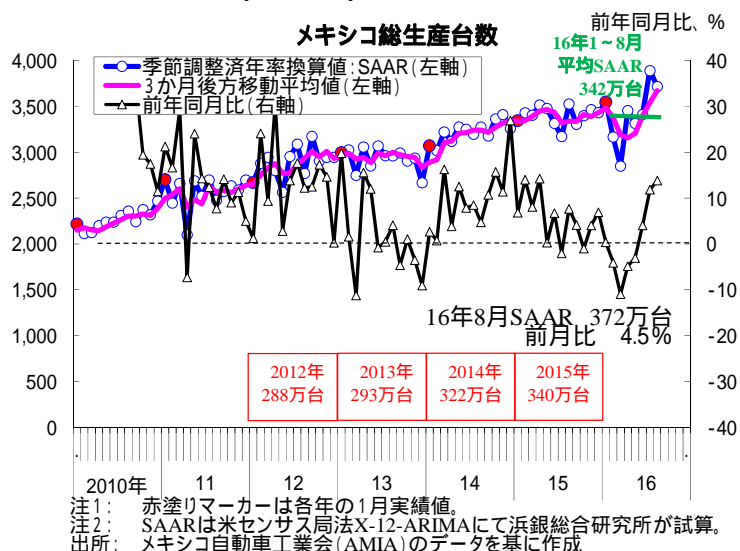
メキシコ自動車市場月次統計（2016年8月）

内外需共に高水準で生産は堅調だが、米国向け輸出減速リスクには引き続き要注意

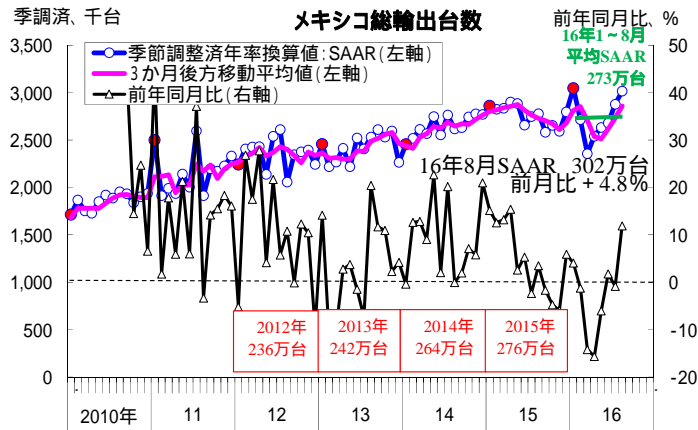
国内販売は一服し、2016年8月の生産台数（SAAR）は前月比4.5%減の372万台

- ・メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した16年8月の総生産台数は、前年同月比13.9%増と3か月連続で前年超えた。季節調整済年率換算値(当社試算、以下SAAR)は前月比4.5%減の372万台と減少したが、高い水準を維持している(図表1)。年率換算値でみた1～8月平均の生産台数(342万台)は15暦年実績(340万台)を若干上回る水準である。国内販売に一服感が出たが、輸出の増加が続いていることが高水準の生産台数を下支えしている。
- ・輸出の拡大が続いている。8月の総輸出台数は前年同月比11.9%増と15年4月以来の2桁%の増加となり、SAARも前月比4.8%増の302万台と5か月連続で増加した(図表2)。1～8月の輸出台数の平均SAAR(273万台)は、15暦年実績(276万台)を若干下回る水準だが、7月、8月と15暦年実績を超える水準となっている。
- ・もっとも、メキシコの主要輸出国である米国での新車販売の減速が続いている点には引き続き要注意である。米国の8月の新車販売台数(SAAR)は前月比2.2%減の1,705万台(弊社試算)となった(図表3)。足元の販売は一進一退が続いているが、3か月後方移動平均値でみたトレンドは下向いている。大手メーカーが販売奨励金を積み増し、市場全体ではローン残高が増加し、リース販売比率も上昇しているなど、競争激化を背景に需要の脆弱性が強まっている。米国新車販売の減速懸念が早期に払しょくされる状況ではないため、メキシコからの自動車輸出が右肩上がり拡大し続けると期待するのは禁物である。
- ・メキシコの総販売台数も足元では一服感がみられ、8月の総販売台数も前年同月比19.6%増と28か月連続でプラスとなったものの、SAARは前月比8.1%減の156万台と2か月連続の減少となった。1～8月の総販売台数の平均SAAR(156万台)は15年実績(135万台)を上回っており、国内需要は今のところ堅調と言えるが、足元の販売減少が今後も続くかに注目したい(図表4)。

図表1 8月生産台数（SAAR）は3か月ぶりに減少も依然高水準

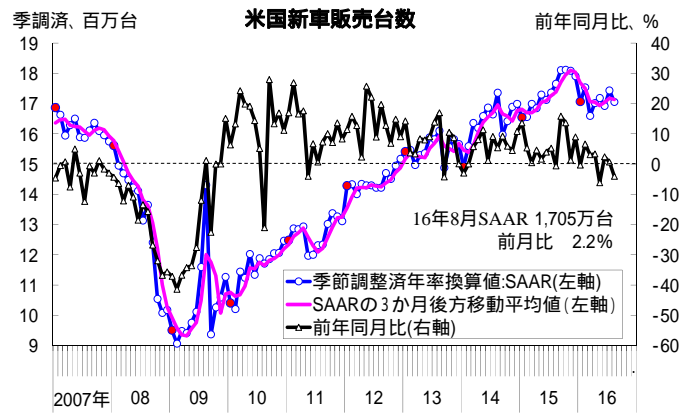


図表2 引き続き輸出は堅調に推移



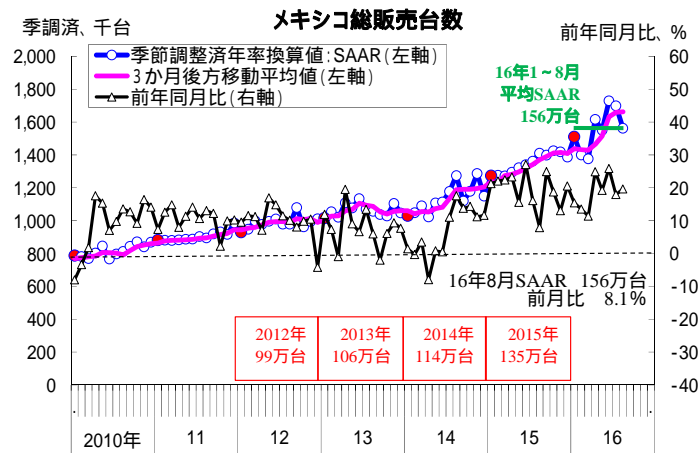
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表3 米国新車販売に減速感



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Autodata, Bloombergのデータより作成

図表4 国内販売は2か月連続の減少で一服感あり



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

担当: 調査部 産業調査室 深尾三四郎

Tel: 045-225-2375

Email: fukao@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたもので、その正確性・完全性を保証するものではありません。